



**廃校施設の利活用に
関する市の考え方は**
橋本 洋一（久比岐野）



問／廃校した学校施設の利活用に
関する市の考え方は。

答／廃校施設の利活用については、
建築基準法や消防法など法令の制
限を受けることが多く、多額の改
修費用を必要とする。今後、教育
目的以外の利活用も検討する必要
があると認識しており、市長部局
と連携しながら取組を進めていく。

問／地元から存続要望の強い温浴施設をはじめ、
公の施設の適正配置についての考え方は。

答／公の施設の適正配置の推進に当たっては、
社会情勢の変化や地域の実情を踏まえて、その
都度、地域の皆さんと合意形成を図りながら進
めているところである。今年度、施設を廃止し
て民間へ譲渡する予定にしていた施設について、
コロナ禍の影響や地域・利用者の意見を踏まえて、
当面3年間、指定管理を継続することとし、「引
き続き協議」としている日
帰り・温浴施設についても、
コロナ禍の影響を踏まえ、
指定管理の更新を行い、今
後、利用実態や収支状況な
どの現状を改めて示した上
で、地域や利用者の皆さん
と協議していく。



**UPZ自治体は事前了解
権を有する協定を！**
牧田 正樹（政新クラブ）



問／柏崎刈羽原発について、当市を含むUPZ
圏内の7市町が、「事前了解権」を有する安全
協定の締結が必要と考える。市長の見解は。

答／福島第一原発のUPZ圏内においても、事
故によって家に住めなくなった人が大勢いるな
ど、柏崎刈羽原子力発電所を監視できる仕組み
が必要である。当市としては、「事前了解権」
を有する安全協定の提携は必要であると考える。
問／他の6市町に締結を働きかける考えは。
答／7市町が一致していく必要があり、私が協
力できるところはやっていきたい。

市長の基本政策・人事改革の進め方は

問／人事改革は、どのように進めるのか。

答／「人事改革プロジェクト」では、行政組織
の在り方をはじめ、人事や異動の期間などを職
員と議論しながら、丁寧に検討を進めていく。

問／人事異動のサイクルは、現行より長い方が、
市民との信頼関係の中で働けると思うがどうか。

答／専門性を高めていけば市民の幸福にもつな
がっていくと考える。

問／年間延べ300人程度が過労死ラインを超
えている超過勤務の改善が必要ではないか。

答／職員が家族との時間を持ち、生き生きと生
活しながら、精神的に余裕がある中で物事を考
えられる職場を作りたい。



当市の魅力を広めるために
江口 修一（久比岐野）



問／ふるさと納税の取組目標を聞きたい。

答／当市の米や酒などの農林水産物や、その加
工品、メイド・イン上越認証品を返礼品に加え
ることにより、事業者の経営力の強化や市全体
の産業振興につなげていきたい。

問／「通年観光」の中で、
「楽しめるまち直江津」
として「鉄道博物館」を
作るのか。

答／「うみがたり」や無
印良品、夕日が見られる
日本海などの直江津のま
ち全体を「面」として捉
え、楽しめる地域にする
ための取組として鉄道博物館を整備したい。



地方自治体DXの推進で市民の利便性向上を

問／次期財政計画はいつ頃までに策定するのか。

答／令和5年2月を目途に策定作業を進める。

問／地方自治体DXのあるべき姿の実現に向け
て「デジタル市役所の推進」を考えているか。

答／業務プロセスの見直しとICTの積極的導
入による「内部事務の効率化・省力化」を掲げ
て、具体的な検討を進めている。ICTの導入
が市民の利便性の向上につながるよう、引き続
き、取り組んでいく。